

入学時と前期末の2回のアンケート結果による 平成21年度入学生の特徴と心情変化に関する調査

櫻本 逸男^{*1} 天内 和人^{*2} 義永 常宏^{*3}
桑嶋 啓治^{*4} 瀬川 圭子^{*5} 松尾 葉子^{*5}

Changes in the Characteristics of Tokuyama College of Technology Students during Their First Semester of Enrollment

Itsuo SAKURAMOTO, Kazuhito AMANAI, Tsunehiro YOSHINAGA,
Keiji KUWAJIMA, Keiko SEGAWA and Yoko MATSUO

Abstract

A school counselors' office was established at Tokuyama College of Technology in 1999. This office has been supporting students proactively rather than reactively since 2002, putting an emphasis on community work. The office began using a questionnaire in 2002 to take a survey of incoming freshmen. The questionnaire inquired about their concerns, motivation to study, and other characteristics, in order to determine the levels and types of proactive support to be provided.

This year the office used the same questionnaire at both the beginning and the end of the first semester, in order to detect any change in the characteristics of freshman students during that interval. The results indicate that the students become acclimated to school programs, but that the motivation to study deteriorates during the first semester.

Key Words : proactive support, reactive support, adapt, new environment, questionnaire

1. はじめに

徳山高専学生相談室では、平成13年度から「学生相談室プログラム」^{*}の一環として新入生アンケートを実施している。

この新入生アンケートの目的は、中学という義務教育機関を卒業し、高等専門学校という高等教育機関に入学したばかりの学生が、これまでと全く異なる新しい環境にできるだけうまく適応できるように援助するための資料を得ることである。

今年度の新入生に対しても、新入生オリエンテーションにおいて、過去8年間と全く同じ内容のアンケートを実施した。そのアンケート結果に基づき、入学当初より悩みを抱えている学生及び入寮した新入生全員に対する個別面談の勧誘を行った。

また、入学後4か月が経過した前期末試験終了後に、一部回答不要部分を除いた同じ内容のアンケートを実施し、入学時からの心情の変化を調査した。

本稿は、実施した2つのアンケート結果を分析し、平成21年度新入生の特徴を学科に焦点を当て

^{*1} 機械電気工学科

^{*2} 一般科目

^{*3} 情報電子工学科

^{*4} 土木建築工学科

^{*5} 学生課学生係

※学生相談室プログラムについては、国重、佐々木¹⁾や佐々木、国重²⁾に詳しく論じられている。

て明らかにするとともに、入学後の変化について考察するものである。

2. 新入生アンケートの設問と結果

本新入生アンケートは、鳴澤³⁾の新入生対象アンケートを徳山高専用に修正・作成したものである。

入学時のアンケートは、平成21年4月の学生相談室オリエンテーションにおいて実施した。学生相談室スタッフがアンケートを配布し、説明を行った後に学生に記入させ、その場で回収を行った。一方、前期末試験終了後のアンケートは、教室でのクラスHRにおいて、各クラスの担任がアンケートを配布し、学生に記入させ、回収を行った。2回のアンケートとも記名式で、全員共通に23の設問があり、寮生には6項目が追加されている。

対象は、平成21年度1年生124名(男子95名、女子29名；自宅通学生104名、寮生20名；機械電気(ME)41名、情報電子(IE)43名、土木建築(CA)40名)である。そのうち、入学時は122名(男子94名、女子28名；ME41名、IE43名、CA38名)、前期末は124名全員から回答を得た。

以下に、アンケート設問項目(括弧内は前期末の設問)と回答を示す。回答は%で示し、回答不要の場合を除き、入学時、前期末の順で並べている。

2-1 新入生全員に対する質問

1. あなたは自宅から通学していますか、それとも寮生ですか(同じ設問)
通学生(83.9, 84.7) 寮生(16.1, 15.3)
2. あなたは中学校時代にクラブ活動に参加しましたか(回答不要)
はい(98.4) いいえ(1.6)
3. あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか(回答不要)
小学生の頃(4.9) 中学1年生の頃(9.8)
中学2年生の頃(34.4) 中学3年生の頃(50.8)
4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか(回答不要)
はい(90.2) いいえ(9.8)
5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか(回答不要)
はい(95.9) いいえ(4.1)
6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、該当するものすべての記号を○で囲んで下さい(回答不要)
 - a. 入学しやすい(2.5)
 - b. いいところに就職できる(66.4)
 - c. 通学の便がいい(3.3)
 - d. 経済的な理由(11.5)
 - e. 先生や親にすすめられた(28.7)
 - f. 自由な校風だから(37.7)
 - g. 先輩・知人がいる(4.9)
 - h. 兄弟がいる(4.1)
 - i. 自分の志望に合っている(61.5)
 - j. 他に入学するところがなかったから(5.9)
 - k. 何となく(4.1)
7. あなたは中学校時代に満足のいく学校生活が送れたと思いますか(回答不要)
 - とても満足している(48.4)
 - 一応満足している(44.3)
 - あまり満足していない(5.7)
 - 全く満足していない(1.6)
8. あなたは徳山高専に入学できて満足していますか(現在、あなたは徳山高専に入学できて満足していますか)
 - とても満足している(63.1, 48.4)
 - 一応満足している(32.0, 47.6)
 - あまり満足していない(4.1, 3.2)
 - 全く満足していない(0.8, 0.8)
9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか、(現在、あなたが在学している目的は何ですか)該当するものすべての記号を○で囲んで下さい
 - 専門的な技術を身につける(82.8, 70.2)
 - 教養を高め人間的に成長する(24.6, 22.6)
 - 先生や友人と交流する(6.6, 21.8)
 - いいところに就職する(52.5, 50.8)
 - 学生生活をエンジョイする(32.0, 45.2)
 - 専攻科や他の大学に進学する(27.0, 16.1)
 - 何とはなしに(2.5, 8.9)
10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか(同じ設問)
 - 十分意欲がある(34.4, 15.3)
 - 一応意欲がある(56.6, 64.5)
 - あまりない(7.4, 16.1)
 - 全くない(1.6, 4.0)
11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか(現在、あなたは本校での勉強についていけるかどうか不安ですか)
 - とても不安である(39.3, 33.9)
 - 少し不安である(53.3, 51.6)
 - あまり不安ではない(7.4, 12.1)
 - 全く不安ではない(0.0, 2.4)

12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか(周りの同級生が自分より勉強面で優れているように思いますか)
 強くそう思う(52.5, 52.0)
 少しそう思う(34.4, 32.5)
 あまりそうは思わない(13.1, 11.4)
 全くそうは思わない(0.0, 4.1)
13. 自分には徳山高専で友人ができないのではないかと心配ですか(自分には本校で友人ができないのではないかと心配ですか)
 とても心配である(14.8, 2.4)
 少し心配である(34.4, 8.9)
 あまり心配ではない(32.8, 44.7)
 全く心配ではない(18.0, 43.9)
14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか(現在、あなたは本校での学生生活をどのくらい楽しんでいますか)
 とても楽しみである(57.4, 52.4)
 少し楽しみである(36.9, 43.5)
 あまり楽しみではない(4.1, 2.4)
 全く楽しみではない(1.6, 1.6)
15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか(同じ設問)
 はい(53.3, 41.8) いいえ(46.7, 58.2)
16. あなたは中学時代に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいましたか(回答不要)
 はい(85.2) いいえ(14.8)
17. あなたは徳山高専に知り合いの人がいますか(回答不要)
 はい(85.2) いいえ(14.8)
18. あなたは徳山高専に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいますか(あなたは徳山高専に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような友達がいいますか)
 はい(41.0, 76.2) いいえ(59.0, 23.8)
19. あなたはある程度親しくつき合っている異性の友人がいますか(同じ設問)
 はい(30.3, 36.9) いいえ(69.7, 63.1)
20. 今までに、反抗して親を手こずらせたことがありますか(同じ設問)
 はい(52.5, 61.3) いいえ(47.5, 38.7)
21. 今までに、失敗や挫折をしてすごく悩んだことがありますか(本校入学後に、失敗や挫折をしてすごく悩んだことがありますか)
 はい(48.4, 33.6) いいえ(51.6, 66.4)
22. 学生相談室で相談できるとしたら、あなたは次のどのような内容について相談してみたいですか(同じ設問)
 勉強(76.2, 67.7)
 知らなかった人との出会い(15.6, 5.6)
 家庭(2.5, 2.4)
 自分の性格(14.8, 12.9)
 心の健康(3.3, 0.8)
 体の健康(7.4, 2.4)
 性(0.8, 2.4)
 友人関係(19.7, 7.3)
 恋愛(6.6, 7.3)
 徳山高専が合っているか(18.9, 13.7)
 進学(41.0, 33.1)
 就職(39.3, 26.6)
- 2-2 寮生のみに対する質問
24. 寮生活全般に関して不安を感じていますか(同じ設問)
 とても不安である(10.5, 5.3)
 少し不安である(36.8, 26.3)
 あまり不安ではない(36.8, 42.1)
 全く不安ではない(15.8, 26.3)
25. 家族から離れて一人で生活するので寂しく思いますか(同じ設問)
 とても寂しい(15.8, 10.5)
 少し寂しい(31.6, 15.8)
 あまり寂しくない(15.8, 31.6)
 全く寂しくない(36.8, 42.1)
26. 寮を出て自宅から通学したいですか(同じ設問)
 是非自宅通学したい(10.5, 10.5)
 少し自宅通学したい(15.8, 15.8)
 あまり自宅通学したくない(36.8, 21.1)
 全く自宅通学したくない(36.8, 52.6)
27. 現在、あなたは寮生活に関して学生相談室で相談をしてみたいような事柄や悩みがありますか(同じ設問)
 はい(5.3, 5.6) いいえ(94.7, 94.4)
28. 27.で、「はい」と答えられた方へ、それはどのような事柄や悩みですか。複数回答可(同じ設問)
 一人暮らしについて(0.0, 0.0)
 寮の施設・設備について(5.3, 0.0)
 先輩との関係について(0.0, 0.0)
 その他(0.0, 0.8)

3. アンケート結果に見られる主な特徴

図1から図14に、入学時のアンケート結果をグラフ化したものを示す。図1から図4を除き、前期末(2回目)と比較するため、入学時(1回目)の結果と並べた。

以下、グラフから読み取ることができる特徴を述べる。番号は2章と同じ設問番号を示している。

3. 本校に進学を決定したのはいつですか(図1)

約半数の新入生が中学2年生までに徳山高専への進学を決めている。小中学生を対象にした工作講座や科学教室などの効果が表れているものと思われる。

4. 本校は第一志望の学校ですか(図2)

ほぼ90%の学生が徳山高専を第一に志望したことが分かる。

5. 本当に入りたかった学科に入れましたか(図3)

IEのみ100%であったが、大部分の学生が希望した学科に入学している。

6. 徳山高専に入学した動機は何ですか(図4)

「b.いいところに就職できる」と「i.自分の志望にあっている」は、毎年、多い選択理由であり、高専の良好な就職状況と専門分野への興味の高さを反映している。

「f.自由な校風だから」は、約30%の学生が選択しており、高校とは違った学校生活を求めている学生もいるようである。

「d.経済的な理由」は、昨今の社会情勢から選択する学生が多いと予想していたが、ほとんどの学生は経済的な理由で高専を選んではないことが分かった。しかしながら今後はこのような学生も増えるかもしれない。

「k.なんとなく」は、ほとんどいない。全体的に、きちんとした動機をもっているようだ。

8. 本校に入学できて満足していますか(図5)

入学できて満足は、1回目でCA,IE,MEの順に多い。CAの傾向は昨年度も同様であった。前期末では、全学科とも「とても満足している」が減少していることが残念である。また、ごく一部に満足していない学生がいることが心配である。

9. 入学(在学)の目的(図6)

入学時の結果からは、80%以上の学生が専門的な学問・技術を身につけたいと考え、50%の学生が就職先を意識し、30%の学生が学生生活にも期待をしていることが分かる。

前期末の結果と比較すると、就職への意識は変

化ないが、学問・技術への高い志向が、少しばかり学生生活を楽しむことと友人との交流に変化しているようである。

10. 現在、あなたの勉強への意欲はどれですか(図7)

ほとんどの学生は、勉強に対して意欲的であることが分かるが、前期末になると、一部の学生に意欲の減退が見られ心配である。

11. 本校での勉強についていけるかどうか不安ですか(図8)

入学時の結果からは、勉強への意欲はあるが、ほとんどの学生が不安を抱えて入学していることが分かる。前期末で大きく変化してはいないが、僅かに安心感が出てきた学生もいるようである。

12. 周りの学生が自分より勉強面で優れていると思いますか(図9)

50%の学生が強そう思っているという回答である。全体的には、前期末でもほとんど変わっていないが、MEの学生だけが思わない学生が増えている。

13. 自分には本校で友人ができないのではないかと心配ですか(図10)

全学科とも前期末では大幅に不安が解消されていることが分かるが、10%程度は心配な学生がいるようである。

14. 本校での学生生活がどの位楽しみですか(図11)

全体的には楽しみであると思っている学生が多く、前期末でもそれほど変化はしていない。ただし、学科別に見た場合倍の特徴として、MEの学生に「とても楽しみである」の減少割合が多いことが気になる。

15. 将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか(図12)

CAに、そう考えている学生が非常に多い。これは例年どおりの傾向であるが、就職先の業種等と関連があるのだろうか。

16. 個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような友達がいいますか(図13)

入学後に親しい友人ができた学生が多いことは大変喜ばしいことであるが、学科により大きな差が出ていることが興味深い。

17. ある程度親しくつき合っている異性の友人がいいますか(図14)

全体的には、入学後に異性の友人ができた学生が増加している。CAにおいては、実に半数以上が付きあっている異性友達を持っており、設問16とも関連があると思われる。

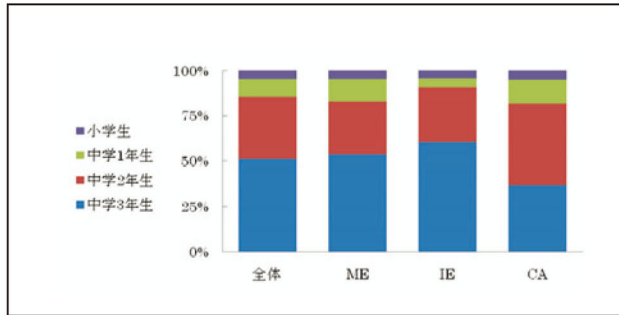


図1 本校に進学を決定したのはいつですか

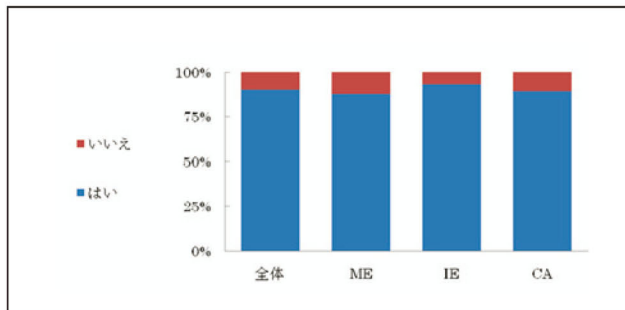


図2 本校は第一志望の学校ですか

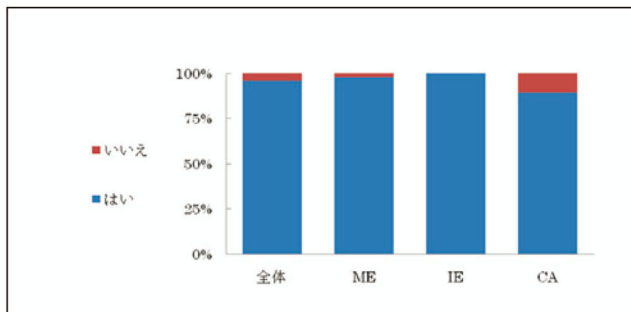


図3 本当に入りたかった学科に入れましたか

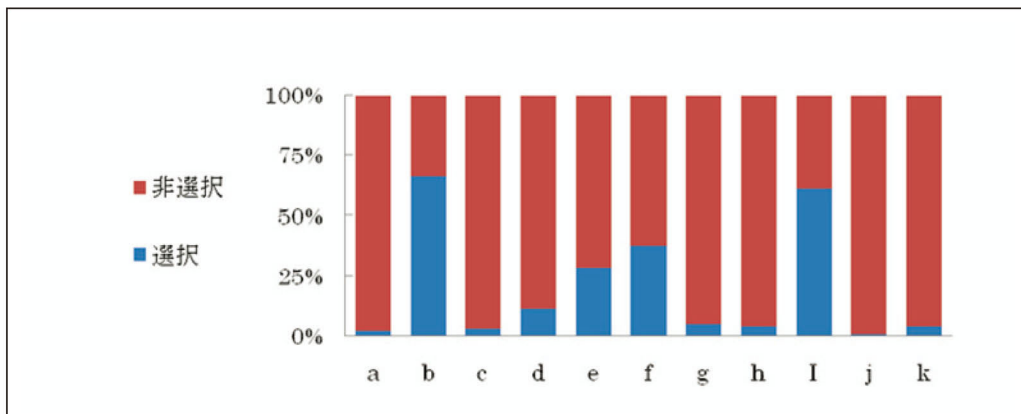


図4 入学の動機

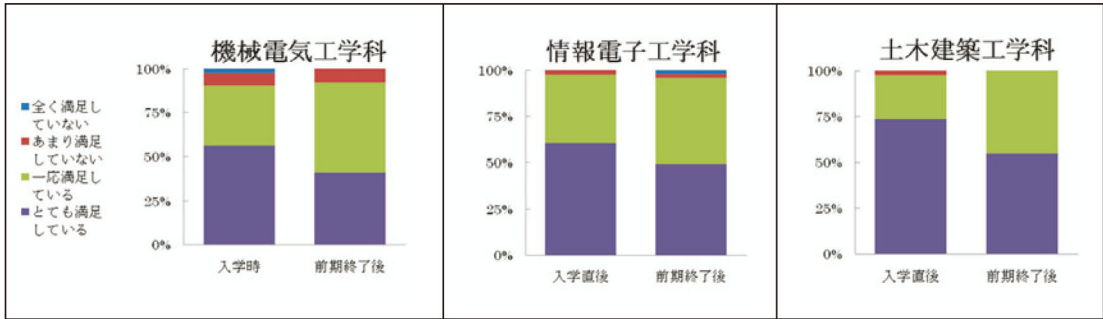


図5 徳山高専に入学できて満足していますか

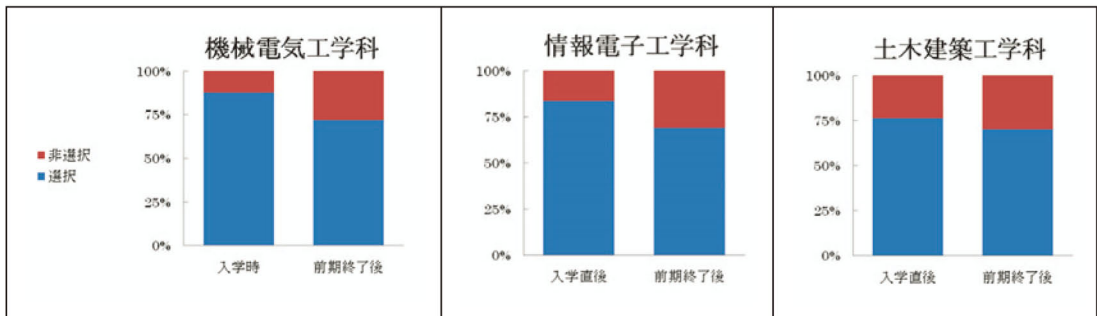


図6(a) 入学(在学)の目的(専門的な学問・技術を身につけるため)

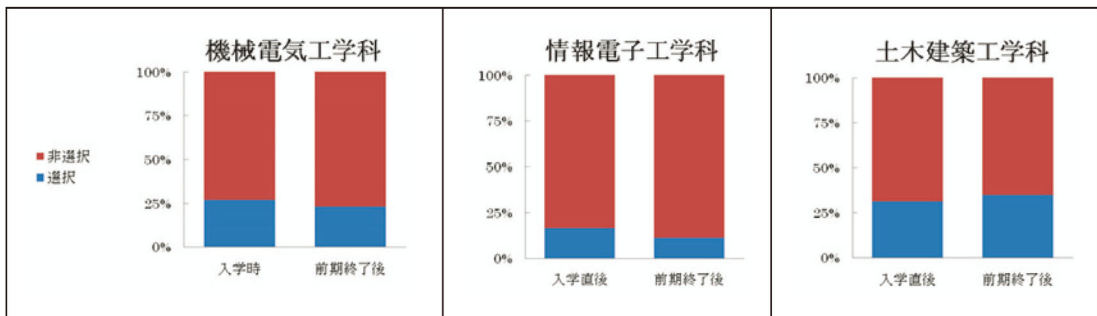


図6(b) 入学(在学)の目的(教養を高め人間的に成長するため)

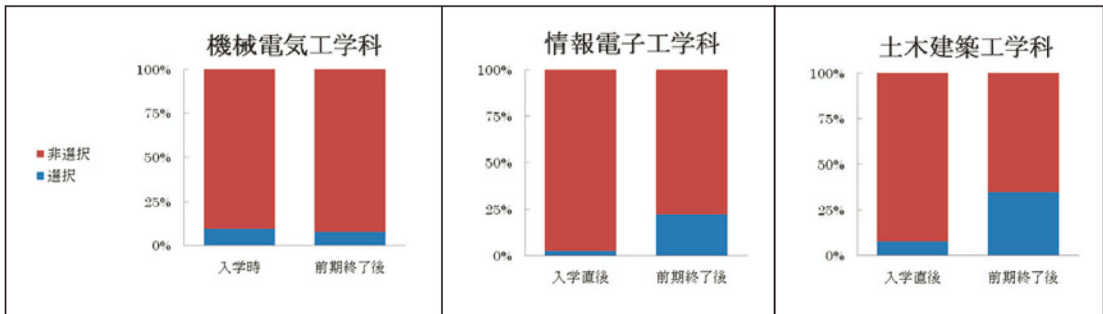


図6(c) 入学(在学)の目的(先生や友人と交流するため)

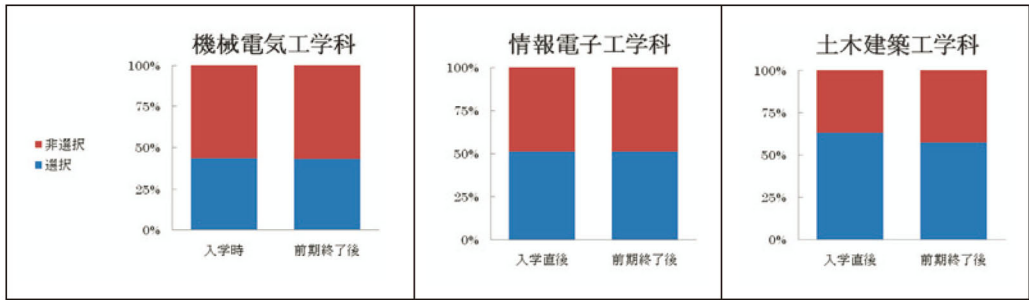


図 6(d) 入学(在学)の目的(いいところに就職するため)

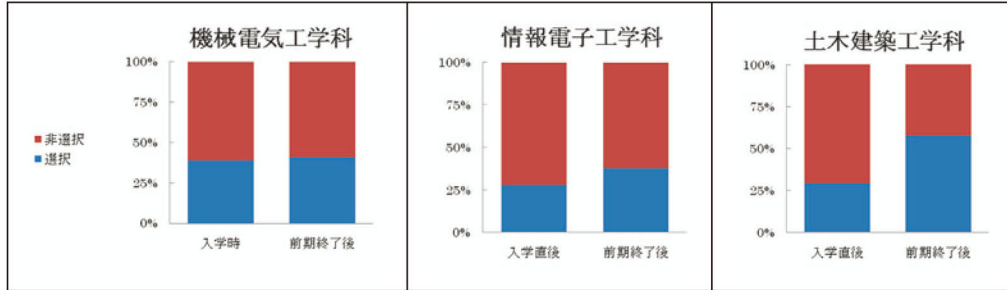


図 6(e) 入学(在学)の目的(学生生活をエンジョイするため)

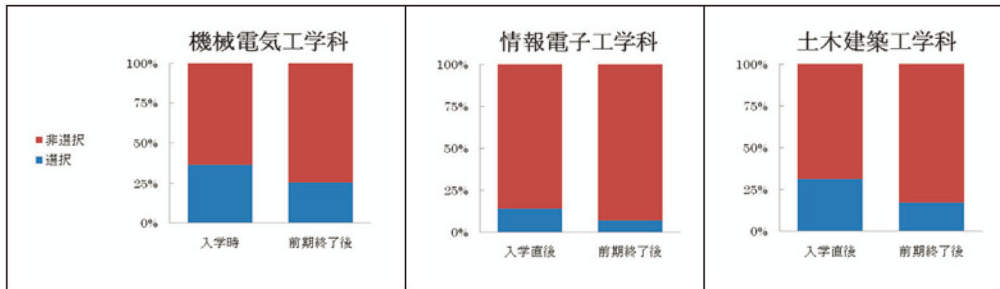


図 6(f) 入学(在学)の目的(専攻科や他の大学に進学するため)

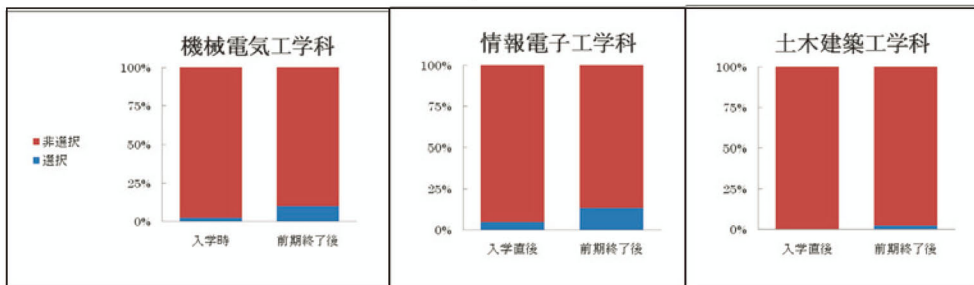


図 6(g) 入学(在学)の目的(何とはなしに)

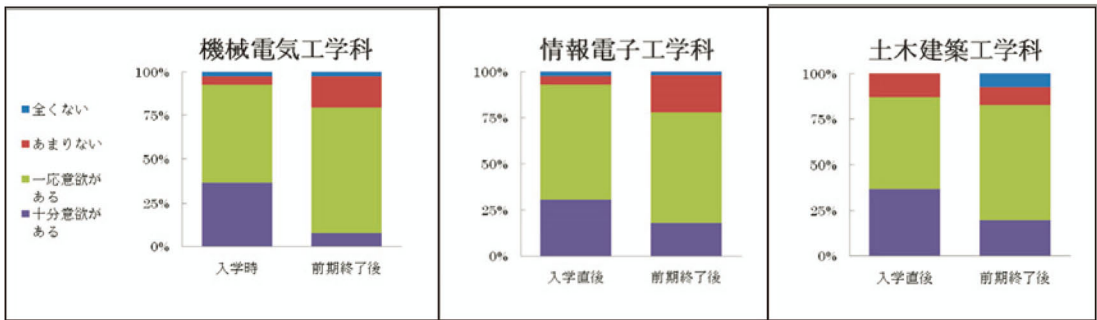


図7 現在、あなたの勉強の意欲はどれですか

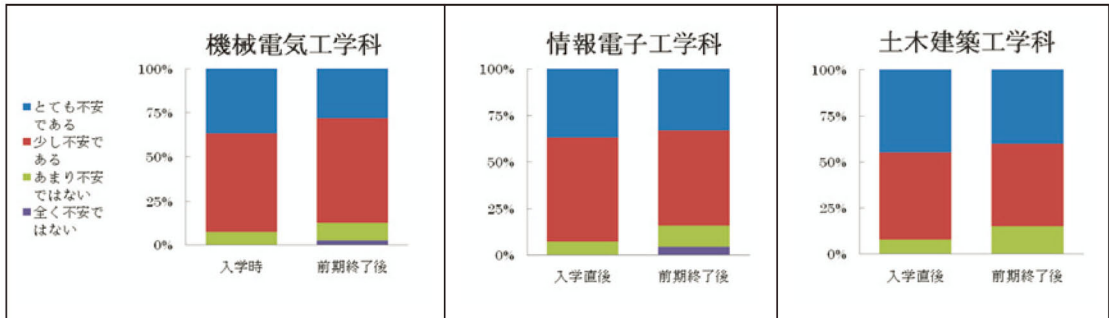


図8 本校での勉強についていけるかどうか不安ですか

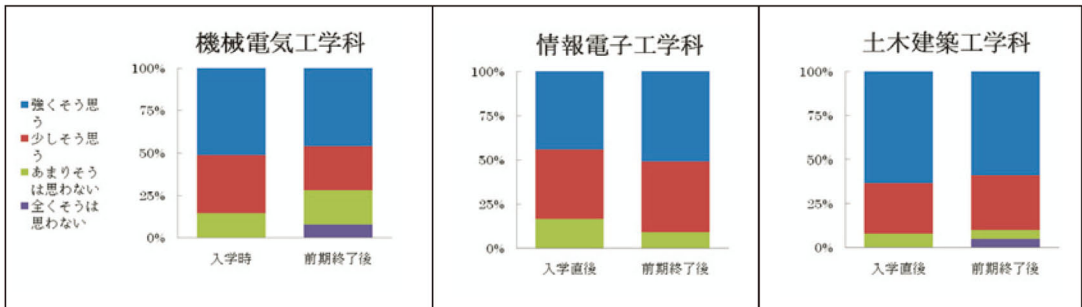


図9 周りの学生が自分より勉強面で優れていると思いますか

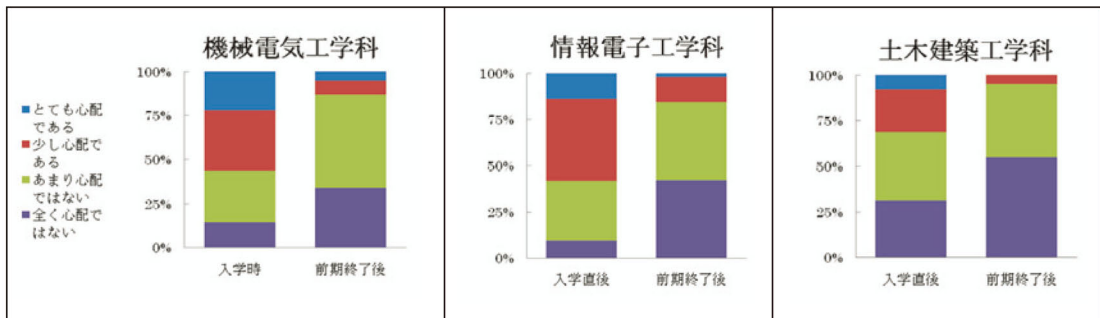


図10 自分には本校で友人ができないのではないかと心配ですか

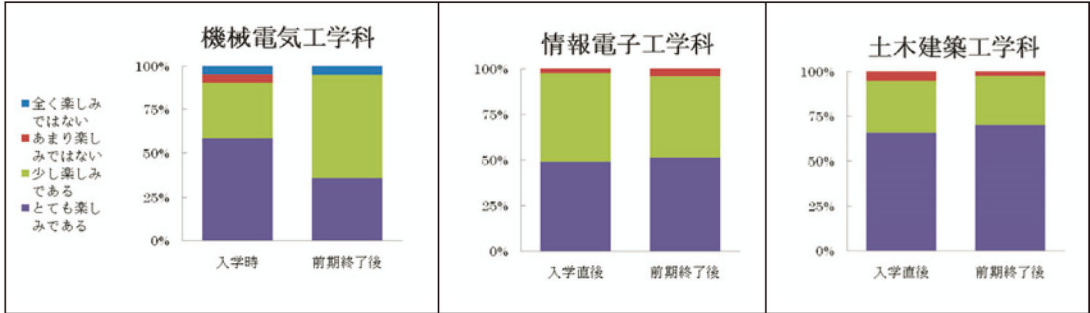


図 11 本校での学生生活がどのくらい楽しみですか(楽しんでますか)

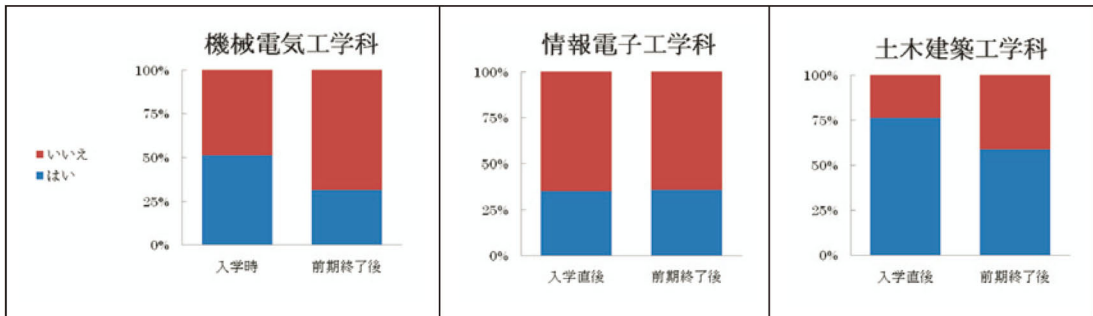


図 12 自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、心の中で決めていますか

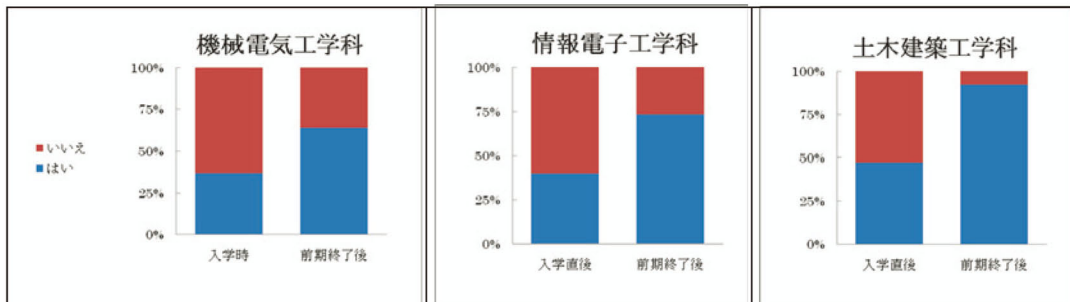


図 13 徳山高専に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような友達はいますか

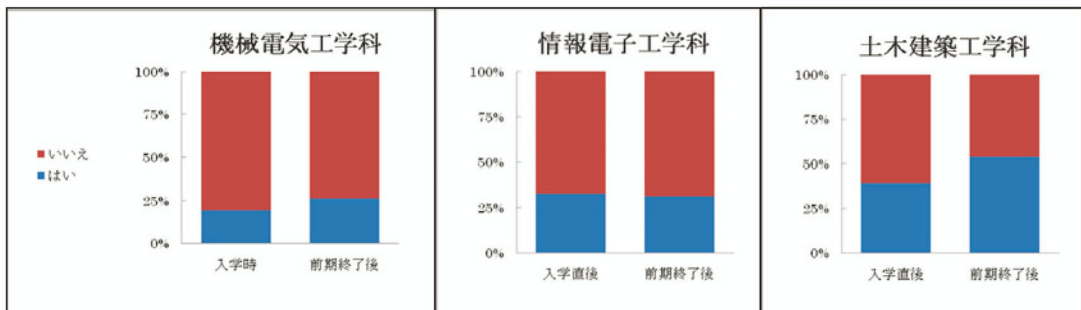


図 14 ある程度親しく付き合っている異性の友人がいますか

4. まとめ

平成 21 年度新入生の特徴を明らかにするとともに、入学時と前期末試験後に実施した 2 つのアンケート結果を比較・分析し、その心情変化について考察した。なお、同年度に 2 回のアンケートを実施し、その変化を調べるのは初めての試みである。

過去の報告において、平成 14～18 年度のアンケート結果の比較分析を行った⁴⁾。その結果と 19 年度⁵⁾、20 年度⁶⁾の結果を含めて比較をしても、全体的にほとんど同じ傾向を示している。21 年度の学生も少なくとも入学時については同じ感じ方をしているようである。このアンケートが記名式であることもその要因であると考えられるが、これらの結果は、非常に信頼性が高いものであると思われる。

以下、特に気付いた点を列挙する。

- 本校が第一志望の入学学生は 90%程度おり、ほぼ全員が希望学科に入っている。また、入学を満足に思っている学生がほとんどである。
- 入学の動機では、「よいところに就職できる」と「志望に合っている」を選択した学生が 1 番多く、高専の良好な就職状況と専門分野への興味の高さを反映している。
- 昨今の経済情勢から、多いと予想された経済的な理由は、ほとんど選択されていない。
- 入学時での「入学の目的」によると 80%以上が専門的な学問・技術を身につけたいと考え、50%が就職を意識し、30%が学生生活にも期待していた。前期末での「在学の目的」では、就職への意識は変化しないが、学問・技術への志向が、やや学生生活を楽しむことと友人との交流に変化しているようである。
- 「勉強への意欲」については、入学時では、一応意欲があるという回答を含めると、全体で 90%程度であるが、前期末において、一部に意欲の減退が見られるのが心配である。
- 「勉強についていけるかどうか」に対し、入学時は勉強への意欲はあるが、大半の学生が不安を抱えていた。前期末では大きな変化はないが、僅かに安心感を持つ学生もいるようである。
- 友人ができないのではないかと不安を感じている学生が入学時には多かったが、前期末では大幅に解消されている。しかし、まだ 10%程度は心配な学生がいるようである。
- 前期末までに、個人的な相談に乗ってもらえ

る親友ができた学生が多いことは大変喜ばしい。この傾向は CA が顕著であり、学科により大きな差があることが興味深い。

- 親しく付き合っている異性の友人をもつ学生が 3 人に 1 人おり、特に、CA では他学科より多く、2 人に 1 人の割合である。
- 寮生活に関しては、入学時は 50%程度が不安を感じていたものの、前期末では 30%に減少し、逆に自宅通学はしたくないとの回答が増えている。昨年度に比べ、今年度は寮生活にあまり不安を持たない新入寮生がもともと多いようである。
- 前期末時点での学生相談室への相談希望事項は、勉強 68%、進路 60% (進学 33%、就職 27%)、交友関係 13% (友人 7%、出会い 6%) と続いており、勉強に関する不安が多い。なお、同設問に対しては、2 回のアンケートにおいて友人関係の減少率が大きかったが、その他は僅かに変化したのみであった。

最後に、これらの分析結果が学生指導の一助になれば幸いである。

参考文献

- 1) 国重, 佐々木: 新入生アンケートを活用した入学時適応援助の方策について, 論文集「高専教育」, 第 25 号, PP. 455-460 (2002)
- 2) 佐々木, 国重: 高専における学生相談の具体的な活用策——心理検査を利用したキャリア・ガイダンスの試み——, 論文集「高専教育」, 第 25 号, PP. 461-466 (2002)
- 3) 鳴澤: 新入生の実態調査, 東京都立大学学生相談室レポート, 9, PP. 6-42 (1980)
- 4) 櫻本, 松尾, 国重, 原田, 日南住: 新入生アンケートに見る平成 18 年度入学学生の特徴および過去 6 年間の結果分析, 徳山高専研究紀要, 第 30 号, PP.1-12(2006)
- 5) 櫻本, 廣林, 藤原, 重村, 国重: 新入生アンケートに見る平成 19 年度入学学生の特徴および 6 年前との比較, 徳山高専研究紀要, 第 31 号, PP.1-10(2007)
- 6) 櫻本, 吉本, 中川, 義永, 秋吉: 新入生アンケートに見る平成 20 年度入学学生の特徴および 6 年前との比較, 徳山高専研究紀要, 第 32 号, PP.1-10(2008)

(2009. 9. 25 受理)